

# 活動状況報告書

1 事業名称 家庭用廃食油回収による地域活性化事業

## 2 事業主体

- 団体名： NPO 法人 松戸エコマネーアウルの会
- 事業担当課： 環境部 環境政策課、経済振興部 商工振興課

## 3 事業を実施するうえでの役割分担

- 団体の役割
  - ①家庭用廃食油の回収拠点、アウル券利用協賛店の新規獲得
  - ②回収拠点、協賛店への定例巡回（情報の収集、アウル券の補充等）
  - ③回収拠点、協賛店の PR 資料の作成、掲示、配布
  - ④スクールガード、駅前清掃等のボランティアへのアウル券の配布
  - ⑤新規スクールガード、美化、環境関連協力ボランティアへの参加呼びかけ
  - ⑥各種イベントに参加して活動を PR する。
- 担当課の役割
  - ①環境政策課 「広報まつど」への活動紹介記事の掲載
  - ②商工振興課 商店街等への回収事業の PR をバックアップ

## 4 事業の内容

回収拠点、協賛店の獲得と定期巡回、アウル券、回収用具類の配布。

日付	作業内容
4/9、4/10、4/17、7/27、 9/20、11/9、1/17	五香・八柱地区回収拠点、協賛店訪問 はたや商店、松久、佐藤ベーカリー、テクノハウス久我
4/11	松里福祉作業所で家庭用廃食油の回収の仕組み説明
4/18	松里福祉作業所へポール、ノボリ持参 PR 写真撮影
4/12、5/27、6/11、6/12、 6/14、7/26、8/28、8/29 9/20、12/11、1/30	八矢庵、ミヤマ建設、峰月訪問
6/4	BDF プラント見学会案内を配布（松久、はたや商店 佐藤ベーカリー、テクノプラザ久我、坂本ガラス）
6/5、7/3、9/17、11/6、 11/18、11/19、12/4	回収拠点 ハナノイ、橋本宅巡回、ノボリ旗交換
7/3	橋本宅に第1回 BDF プラント見学会案内を配布

12/24、12/25、1/9	新規回収拠点パン工房ポナペティートで回収の仕組みの説明とノボリの設置
4/25、6/7、9/9、9/19 10/10、10/18、11/8、11/22 12/26、	協賛店 千寿、パン工房ポナペティート訪問、
4/9、6/12、10/21、12/3	協賛店秋月訪問
4/17、5/16、6/4、8/16、 9/17、12/10	花創作高原、ノエビア、スエヒロ訪問
4/19	ノエビア、八しま訪問
6/7、2/3、	ノエビア訪問 BDF 見学会案内持参
4/17、7/3、2/1	花創作高原 ノボリ、ポール交換、 BDF 見学会案内持参
2/4	スエヒロ訪問
5/10	ヤマザキ家具センター訪問
8/6、8/23	新規回収拠点 メリーズジャパン訪問打ち合わせ
4/26、5/7、5/31、6/24 8/2、10/25、1/22	回収拠点 丸協訪問
10/2、1/17、1/22	メリーズジャパン 訪問

回収拠点、協賛店用の PR チラシ資料の作成、印刷、PR 用備品等の購入

日付	作業内容
4/15、4/18、4/25、5/4、 5/6、4/19	松里作業所の回収拠点資料の作成、協賛店資料の作成 印刷
8/6、8/18、1/27	回収拠点、協賛店用にポール、ポール用土台購入
1/6、1/9	パン工房ポナペティート回収拠点用資料の作成
9/2	回収拠点 橋本の紹介資料印刷
1/9	ポナペート回収拠点用資料の印刷

広報活動用資料の作成、打合せ

日付	作業内容
5/7	第1回 BDF プラント見学会案内資料作成
6/2 6/10、6/11	第1回 BDF プラント見学会打ち合わせ 同上資料印刷
7/26、8/5、8/9、8/26 8/22、8/28	25年度協働事業中間報告 PR 資料検討 印刷
10/7、10/25、11/1	25年度協働事業中間報告（その2）PR 資料検討、印刷
11/23、12/18、 12/22,12/23,1/14	第2回 BDF プラント見学会案内資料作成
1/22	第2回 BDF プラント見学会打ち合わせ
12/24、12/27	家庭用廃食油回収実績の作成
2/27、3/5、3/19	25年度協働事業中間報告（その3）PR 資料検討、印刷

町会、各戸に回収拠点、協賛店用の PR チラシ資料の配布

日付	作業内容
4/22	松里福祉作業所周辺の五香 4.5 丁目に紹介パンフ配布
4/22、4/25	五香新町町会登校指導協力者に協賛店パンフ配布
8/24、8/28、8/30、9/3	新規回収拠点メリーズジャパンの紹介ビラを周辺の住宅に配布
1/14、1/16、1/17、1/18	新規回収拠点パン工房ポナペティートの紹介ビラを周辺の住宅に配布

協働事業についての会議

日付	作業内容
4/28、6/2、6/22、 7/28,8/18,9/22、 10/20、11/17、12/22、 2/1	回収拠点、協賛店の巡回報告、問題点の打ち合わせ 翌月の行動計画等

## PR・広報活動

日付	作業内容
4/7	常盤平さくらまつりにて家庭用廃食油事業を PR
5/3	小金原こどもまつりにて家庭用廃食油事業を PR
6/6	BeCan フォーラムで報告
7/7	戸田建設にて第 1 回 BDF プラント見学会と会員交流会 開催（参加者 21 名）
9/20	市民会館 202 号室にて家庭用廃食油について講演
10/14	かぶちゃん農園（柏健考館）交流会にて PR
10/27	馬橋地区社協主催ふれあい広場（三中）に出展・PR
11/24	小金原地区社協主催ふれあい広場に出展・PR
1/26	戸田建設にて第 2 回 BDF プラント見学会と会員交流会 開催（参加者 17 名）
1/27	シニアボランティアに家庭用廃食油の回収事業講演
2/8	「もったいないの日」出展・PR

## 5 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

目標 1： 新規回収拠点を 5 ヶ所獲得する。1 回収拠点の回収量を 500L とする。

実績 5 ヶ所 新規にスタートした。その結果回収拠点総数は 18 拠点となる。

（途中で 1 拠点が移転で廃止となる）

新規回収拠点	松里福祉作業所	4 月
	メリーズジャパン	8 月
	柏 健考館	8 月
	パン工房ポナペティート	12 月
	たいやき千寿	12 月

回収拠点の家庭用廃食油の回収量

25 年 4 月～26 年 3 月末の総回収量 2289L に達した。

しかし残念ながら 1 拠点当たり目標の 500L に到達した回収拠点はなかった。

回収拠点別実績表（26年3月末）（単位 L）

回収拠点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	計
スエヒロ	0	0	16	14	0	10	0	15	2	28	0	0	85
花創作高原	18	0	11	10	0	0	0	0	10	0	8	0	57
松久	0	0	36	30	0	0	34	37	19	40	26	24	246
松川産業	0	30	0	0	0	30	15	0	24	0	30	0	129
ミヤマ建設	18	7	0	18	0	12	4	0	10	65	0	0	134
ヤマザキ家具	0	33	37	20	0	28	0	8	18	51	0	14	209
はたや商店	0	0	7	92	101	0	5	30	28	20	29	3	315
峰月	31	0	0	0	20	0	0	61	37	0	0	0	149
八矢庵	6	11	0	28	0	51	16	0	10	13	2	0	137
丸協	0	0	16	0	23	22	0	0	1	0	12	0	74
ハナノイ	49	46	0	15	閉鎖								110
ノエビア	92	0	62	3	23	0	67	0	58	14	0	0	319
松里福祉作業所	未開設	0	0	14	43	0	10	22	30	0	18	0	137
カフェ久我	32	0	27	0	10	0	15	0	18	0	0	0	102
メリーズジャパン						未開設	8	0	0	6	0	0	14
橋本宅							8	0	51	0	0	0	59
パン工房ポナペティート									未開設	13	0	0	13
タイ焼き千寿									未開設	0	0	0	0
柏 健考館					未開設								
合計	246	127	212	244	220	153	182	173	316	237	125	41	2289

今年度の回収実績は、26年3月末で2289Lであり、24年度の最終回収実績の1328Lを172%超えており、確実に市民への認知は深まってきている。

新しい回収拠点も増えたので今後の伸びに期待したい。

アウル券の配布実績と使用実績（26年3月末現在）

家庭用廃食油 500mL で 10 アウル券 1 枚を渡す。

10 アウル=10 円で買い物が出来る

配布実績と使用実績（26年1月末）

回収拠点兼協賛店	配布枚数	使用枚数
スエヒロ	63	0
花創作 高原	63	0
松久	114	78
八矢庵	75	67
ノエピア	364	0
松里福社会	33	0
カフェ久我	137	0
峰月	75	251
はたや商店	137	0
パン工房ポナペート	10	25
ヤマザキ家具センター	241	
柏健考館	18	6
<b>回収拠点</b>		
ミヤマ建設	8	
丸協	41	
ハナノイ		
松川産業	89	
メリーズジャパン	8	
橋本宅	77	
<b>協賛店</b>		
佐藤ベーカリー		35
セブンイレブン松戸東口店		3
合計	<b>1553</b>	<b>465</b>

26年3月時点での配布枚数は、1553枚、使用枚数465枚で着実に増加している。  
 なお、24年度の配布枚数は1369枚、使用枚数は312枚であった。

## 目標 2：新しいスクールガード 5 団体への配布

あたらしいスクールガードへのアプローチは出来なかった。

スクールガードへの配布実績

五香新町町会 登校指導 2 週間/月 1 日 6 名

520 枚配布 (26 年 1 月末)

「メイク松戸ビューティフル」の駅前清掃への配布

220 枚配布 (26 年 1 月末)

### 広報活動実績

協働事業の成果をまとめた PR 資料 (25 年 8 月号、10 月号 26 年 3 月号) を発行して回収拠点、協賛店を通じて廃食油回収に協力してくれた市民に配布した。

広報まつど 6 月 1 日号(環境月間)、12 月 15 日号に協働事業活動として掲載された。リビングかしわ 4 月 13 日号に紹介記事が掲載された。

## (2) 取り組んだ課題の現状について

### 1 回収拠点、協賛店の拡大について

3 年間の協働事業として展開し、この回収事業も少しずつ市民に認識された。例えば、「消費生活展」の展示においても来場者の半数程度は認識されていた。しかしまだまだ回収拠点の網の目が粗く多くの一般市民にとってはこの運動に参加するには、距離があるように感じた。

残念なことではあるが、廃食油を持参した市民の一部にはアウル券を受け取らない方がいることである。理由は「面倒である」「油を回収してもらっただけで十分である」との意見である。

一般市民の協賛店でのアウルの券の利用については、まだまだ一部の協賛店での利用にとどまっている。協賛店側の対応とともに、市民側にも遠慮や、気兼ねが感じられる。

使いやすい、魅力ある協賛店を増やす事とともに、アウル券の使用出来る範囲を拡大することを真剣に検討する必要がある。

しかし今年度増えた回収拠点はこの運動に賛同して、積極的に回収拠点になることを申し出されたものである。「アウル」の会としてもこの気持ちに応えるべくその周辺の市民への PR を積極的に展開していきたい。

商店街ぐるみの取り組みについては成功しなかった。

### 2 スクールガード、新規協力ボランティア団体の獲得

残念ながら、獲得出来なかった。さらに PR を重ねていく。

## 6 今後の事業展開について

- 1 協賛店、回収拠点の松戸市全域への拡大  
商店街、町会単位での取組にも注力していく  
家庭用廃食油を持参した市民の中には、アウル券を受け取らない人がいる。  
この活動の趣旨の徹底がまだ不十分であるとともに、使いやすい協賛店の  
拡大が最も必要である。
  
2. アウル通貨の循環の拡大  
スクールガード、防犯パトロール、清掃ボランティア等にも配布を拡大して、  
市民と商店、ボランティアの連携を深めたい。
  
3. 松戸市内の企業への協力要請  
今年で協働事業も終了するので、アウルの会の活動趣旨を説明して賛助会員に  
なってもらい、資金面の援助を得て、この事業を継続したい。
  
- 4 アウルの会の若返り。  
NPO 見本市等を通じて、今まで以上に新規会員の募集に注力して、  
若い世代の力を活用したい。
  
- 5 松戸市の継続したバックアップ  
広報活動等、今後も幅広い見地からこの活動を援助してほしい。

以上